

平成 29 年度 第 1 回座間味村総合教育会議 議事録

日時：平成 29 年 6 月 21 日（水） 14：00～ 14：40

場所：座間味村役場 2 階 会議室

出席者： 市村委員 当間委員

中村教育長 野崎教育課長

宮里村長 田中（事務局）

1 開 会

村長： 3 期目に入りましたので、今日は私の公約をご説明しながら進めたい。
大綱も年度としては 3 年目に入り、積極的な意見交換をお願いしたい。

2 議 事

(1) 29 年度教育関連予算と執行状況について

教育課長から執行状況と今年度予算について

- ・阿嘉小学校耐力度調査は終了し、県においてチェックが行われている
- ・29 年度の大きな事業である座間味幼稚園舎と座間味校教員宿舎は 7 月に入札予定
- ・その他には、離島高校生修学支援や一括交付金でのインターネット塾を実施する
- ・また、6 月補正で、高校生が帰省しやすいよう旅費免除を行うことになった

村長から

- ・高校生の帰省支援旅費は、年 4 回の乗船料を免除するもの
- ・ホームステイについては、座間味校の応募が多く 5 名の派遣とした
- ・校舎、園舎や教員宿舎の建設も着実に進めたい
- ・阿真の交流センターについては、総務の離島活性化事業で一部改修を行う

(2) その他

- ・普通教室のクーラー整備について

教育課長 離島小中学校の空調設置状況については別表の通りである。

村長 普通教室はオープンな構造なので空調整備は難しいかと思うが、夏場は特別教室をうまく活用できないものか。コストもかかることなのでこれからも議論したい。

(3) 村長から教育関連の公約について

- ・子育て支援や教育環境の充実は“未来への種まき”として位置づけ、重視している。先程も話が出たホームステイなどは一人でも多くの子が参加できるようにしたい
- ・東町にできた離島学生寮も定員をオーバーして希望があるので、第二の提案も必要かもしれない
- ・文化財審議委員会を立ち上げ、戦争遺跡はもちろんのこと、埋もれている有形無形の文化財を発掘・指定し保存や展示につなげたい
- ・国立公園指定を機に OIST と本村との交流が進んでいる。去年は中学3年生対象にサイエンス教室を開催してもらった。子どもたちが科学技術にふれる環境づくりをしていきたい

意見交換

当間委員 二子目以降の給食費の低減を進めてほしい。

村長 返還無用の奨学金が国で検討されていて、県内自治体でも動きがある。教育長とともに検討していきたい。

市村委員 保育所設置の進捗状況はどうか。

村長 偕生園内で検討している。しかし、対象児童全員が入れないので、まずは延長保育から実現したいがマンパワーが足りない。村では交付金活用による単身者住宅も検討しており、早期に住環境を整え人材確保につなげたい。

市村委員 村塾が以前ほど集まらないと聞くが、内容的に難しいとか、レベルが合っていないという課題があるのか。

村長 他の地域との切磋琢磨も必要であり、与那国と大東では劇的に学力が向上したという実績に基づき実施しているが、座間味ではどうなのか。

市村委員 お母さん方に聞く範囲では、不満はないが宿題をする時間がなくなるなど子どもたちに余裕がないようだ。

村長 県事業から引き継いで2年目。まずは3年はやってみるべきだろうか。

教育長 以前は、本村のレベルに合わせて受験対策もしてくれたようだが。

村長 学力の底上げなのか受験対策なのか、事業主体である教育委員会で検討していただく必要があるかもしれない。

教育長 校長とも話してみたい。

村長 文化財審議委員の選考基準など情報交換をお願いしたい。

(4) 次回開催について

予算編成に先駆け11月の定例教育委員会開催日に行う。

以上

当日配布資料

平成28年度第2回会議録 座間味村教育大綱